

2020年8月25日

東急不動産株式会社

## 国土交通省の「令和2年度サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）」に『（仮称）道玄坂一丁目計画』が採択

～鉄骨造・木造のハイブリッド構造で、階数として国内最高の13階建てオフィスビル～

東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：岡田 正志）は、当社本社のある渋谷ソラスタ隣地にて推進する『（仮称）道玄坂一丁目計画（以下、「本計画」）』が、木造建築物に係る技術の進展及び普及啓発を図ることを目的とした、国土交通省の「令和2年度サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）」に採択されたことをお知らせいたします。

本計画は、外部から視認性の高いファサード2面に、ラチス状の木・鉄骨のハイブリッド耐震システムである「木鋼組子<sup>※</sup>」を国内で初めて採用するとともに、上階の柱梁に木質ハイブリッド集成材を使用することで、建物内外から木材の温もりを感じられるようにしました。これまでも鉄骨造の建築に木製の構造壁を組み込む試みはありましたが、本計画で採用する「木鋼組子」は、一般的な木質材料による木製ブレースで高い靱性を確保し実用性を向上させていることが評価され、この度の採択となりました。

また、鉄骨造・木造によるハイブリッド構造のオフィスとして発表されているものとしては、国内最高の階数となる13階建てであり、高層建築物への木材利用を促進する先導的なプロジェクトとなります。

当社は、緑の力を活用する新しい働き方「Green Work Style」を提唱し、共用部に緑を多く取り入れたオフィスビルを提供するなど、様々な取り組みを推進しています。本計画でも、木や緑を積極的に取り込み、オフィスワーカーの心身の健康増進や生産性向上に寄与する次世代型オフィスのプロトタイプを目指し、2030年までの「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成にも貢献します。

※「木鋼組子」は前田建設工業株式会社、株式会社ホルツストラが共同開発し、共同特許出願中の技術です。



外観イメージ



内観イメージ



## ■ 「サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）」について

再生産可能な循環資源である木材を大量に使用する大規模な木造建築物等の先導的な整備事例について、木造建築物等に係る技術の進展に資するとともに普及啓発を図ることを目的とする国土交通省の事業です。先導的な設計・施工技術が導入される大規模な建築物の木造化を実現する事業計画の提案を公募し、支援対象として適切と思われる提案が採択されます。

## ■ 日本の“はたらく”を緑でデザインする「Green Work Style」

当社は、植物（＝緑）が持つ力を活用し、新しい働き方をデザインするプロジェクト「Green Work Style」を推進しています。心身の健康やひらめきに影響を与える緑の力に着目し、理想的な働き方の実現を目指して緑の力をオフィスに取り入れることで、オフィスワーカーの心身の健康増進と作業効率や生産性の向上、コミュニケーションの活性化などに寄与します。

Green Work Style の詳細はこちらから <https://www.tokyu-land.co.jp/urban/bldg/gws>

## ■ 東急不動産ホールディングスグループが取り組む SDGs

東急不動産ホールディングスでは 2015 年に国連サミットで採択された 2030 年までの「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に貢献します。持続可能な世界を実現するための 17 の目標のうち、当社が取り組む項目を定め、SDGs を起点にサステナブルな社会と成長をめざします。

なお、本計画では SDGs の目標 11「住み続けられるまちづくりを」と、目標 12「つくる責任つかう責任」の達成に向けて取り組みを進めます。



## ■ (仮称)道玄坂一丁目計画概要

所 在：	東京都渋谷区道玄坂一丁目30番12、13（地番）
交 通：	JR・東京メトロ銀座線・半蔵門線、東急田園都市線ほか「渋谷」駅徒歩6分
用 途：	事務所、店舗
敷 地 面 積：	約170㎡
延 床 面 積：	約1,400㎡
構 造：	鉄骨造、一部木造
階 数：	地上13階
高 さ：	約45m
事 業 者：	東急不動産株式会社
設 計 者：	前田建設工業株式会社
竣 工：	2022 年度（予定）



※ なお、同日付けで設計者である前田建設工業株式会社からも、リリースが発表されています。

<https://www.maeda.co.jp/select/2020/08/25/2175.html>

